

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【公開番号】特開2015-152228(P2015-152228A)

【公開日】平成27年8月24日(2015.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-053

【出願番号】特願2014-26281(P2014-26281)

【国際特許分類】

F 24 C 15/34 (2006.01)

F 24 C 1/00 (2006.01)

F 24 C 15/04 (2006.01)

【F I】

F 24 C 15/34 C

F 24 C 1/00 370 A

F 24 C 15/04 C

【手続補正書】

【提出日】平成29年2月9日(2017.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

加熱庫内に載置した被加熱物をガスで加熱するため室内に配置される加熱調理器であって、

少なくとも1枚の低放射ガラスを含んで構成される前面扉と、

周囲が断熱材で覆われた加熱庫と、

ガスの燃焼により生じた燃焼排気を外部に排出するための燃焼ファン及び排気管を含む排気手段と、

前記加熱庫に空気を流入させるための吸気口と、

前記加熱庫の側面扉側及び前面天井部に形成される、前記加熱庫と加熱調理器筐体との間の隙間であって、前記排気管が存在しない該隙間に前記吸気口から空気が流入される空間部と、

前記排気管の端部に接続された二重管構造の排気口であって、該二重管構造の内側管と前記排気管が連結し、該二重管構造の外側管と前記空間部が連結する該排気口とを備え、

前記燃焼ファンにより前記内側管から排出される前記燃焼排気の流れが、前記吸気口から吸引される空気の移動を促し、前記空間部に滞留する熱気が前記外側管を通じて前記排気口から排出されることを特徴とする加熱調理器。

【請求項2】

前記外側管から前記空間部に滞留する熱気が排出され易くするため、前記排気口における前記外側管の長さが前記内側管よりも長いことを特徴とする、請求項1に記載の加熱調理器。

【請求項3】

前記吸気口は、前記側面扉側の上部及び下部に少なくとも1つずつ設けられ、

下部の吸気口から吸引される空気は、前記側面扉側の空間部に滞留する熱気を上方に移動させ、上部の吸気口から吸引される空気は、前記上方に移動された前記側面扉側の前記空間部の熱気とともに、前記前面天井部の前記空間部に滞留する熱気を前記排気口へと移

動させるための気流を生じさせる、請求項 1 又は 2 に記載の加熱調理器。